



高校生 応援するよ！プロジェクト 《高校生等学習支援金》

事業およびアンケート調査報告書

特定非営利活動法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ

2022年3月20日

目次

はじめに.....	3
高校生 応援するよ！プロジェクト《高校生等学習支援金》の概要.....	4
アンケート調査報の概要.....	7
アンケート調査報告	8
アンケート調査報告に寄せて	13
高校生世帯の崖っぷち生活(自由記述から).....	15
支援金を受給した高校生と保護者より.....	16
＜高校生のお子さんの感想・メッセージ＞	
＜保護者の感想・メッセージ＞	
【資料：アンケート用紙】高校生 応援するよ！プロジェクト《高校生等学習支援金》アンケート...	26

はじめに

この報告書は、2021年度「高校生応援するよ！プロジェクト《高校生等学習支援金》」のアンケート調査をまとめたものである。

このプロジェクトは、ミネベアミツミ株式会社（貝沼由久社長）が、コロナ期であっても会社が業績を上げることができたことから、社会貢献としてコロナ期にもっとも苦しい思いをしたひとり親世帯の支援をすることとし、当団体（特定非営利活動法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ）に声をかけていただき、実行が決まったものである。

わたしたちは、シングルマザーたちからの相談を日々受けている感触から、もっとも苦しい生活をしている層のひとつとして、児童手当が支給されなくなり、通学費用やそのほかの費用がかかる高校生世帯があると考えていたので、高校生世帯に支援をしたいと提案し、ミネベアミツミ株式会社から承認され、当団体に5000万円という貴重な寄付を託していただいてこのプロジェクトが行われることになった。

7月からインターネットを通じて募集を行い、住民税非課税世帯を基準として審査を行い、1606人の子どもたち1人あたり支援金3万円を届けることができた。

その後、受給世帯へのアンケートを実施した結果がこの報告書である。

これを読んでいただくと、いかに低所得のひとり親世帯にとって、高校生の子どもの学習のための経済的負担が重く家計にのしかかっているか、少額であっても家計に余裕がない場合にはその捻出に親子で悩んでいるかがおわかりになると思う。

そして、高校の通学費用が捻出できた、模擬試験の参考書が買えた、受験料が払えた、などの声をもらった。

また、コロナの感染が広がった2年目の時期にひとり親の就労状況が悪化し、経済的にさらに困窮している状況がうかがえた。

高校生のいるひとり親世帯の状況を理解する一助としていただきたい。

最後に、このようなプロジェクトの実行を支えてくださった、ミネベアミツミ株式会社の貝沼社長はじめ社員みなさまに深く感謝を申し上げます。

特定非営利活動法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ

理事長 赤石 千衣子

高校生 応援するよ！プロジェクト《高校生等学習支援金》の概要

【事業概要】

ミネベアミツミ株式会社は高校生世代への学習支援金事業に強く賛同し、創立70周年記念事業の一環として当法人に対して5000万円のご寄付を行なってくださった。

今回の事業はミネベアミツミ株式会社からのご寄付を元に下記のような応募条件で募集を実施した。

- 1 対象 高校等に在籍するひとり親家庭のお子さん 1500人
- 2 支援金 高校生1人につき 3万円
(教材費・昼食代・部活費用・修学旅行代・塾費用など学校生活にかかる費用の援助として)
- 3 応募条件 2021年度(令和3年度)住民税が非課税(所得割)の世帯
(生活保護世帯の高校生は除く)

【事業スケジュール】

申込期間	2021年7月22日(木)～8月15日(日)
選考委員会	9月1日(水)
振込	9月2日(木)～9月6日(月)

【選考委員】(順不同・敬称略)

小林 雅之	桜美林大学国際学術研究科教授
高橋 聖子	コンサルタント(社会的事業・防災)
なかじま ともみ	CFP®・1級FP技能士 NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ アドバイザー
伊藤 美奈子	ミネベアミツミ株式会社 人事総務部
赤石 千衣子	NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長

【高校生 応援するよ！事務局】

村山 純子	NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ事務局長
岡本 美架	高校生 応援するよ！事務局 主任
丸山 裕代	ボーダー選考 NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事

応募者と受給者の概要

【選考結果】	人数	世帯数
受給者数	1606	1403
選外者数	35	34

【受給の事由】

受給の事由	確認した書類	人数
① 離婚・非婚など 非課税	児童扶養手当証書＋課税証明書	1314
② 遺族年金 非課税	遺族年金証書＋課税証明書	145
③ 障害年金 非課税	住民票（一部児童扶養手当証書）＋課税証明書	31
④ 離婚前その他 非課税	ひとり親の証明＋課税証明書	53
⑤ 離婚前その他 2020年非課税レベル	ひとり親の証明＋2020年収入証明	8
⑥ 家計急変 2021年非課税レベル	児童扶養手当等＋2021年1月-6月の収入証明	53
⑦ 課税であるが非課税レベルと判断	非課税の収入額と僅差	2
	受給者 合計	1606

【受給者の居住地】

	都道府県	受給者（人）
北海道	北海道	78
東北	青森県	17
	岩手県	25
	宮城県	66
	秋田県	6
	山形県	14
	福島県	11
関東	栃木県	32
	群馬県	18
	茨城県	26
	埼玉県	66
	千葉県	44
	東京都	324
	神奈川県	78
甲信越	山梨県	7
	長野県	54
	新潟県	17

北陸	富山県	10
	石川県	11
	福井県	17
東海	静岡県	33
	愛知県	51
	岐阜県	31
近畿	京都府	12
	奈良県	8
	大阪府	89
	兵庫県	32
	三重県	13
	滋賀県	4
	和歌山県	4
中国	広島県	22
	岡山県	78
	鳥取県	1
	島根県	5
	山口県	25
四国	徳島県	3
	香川県	19
	愛媛県	14
	高知県	0
九州	福岡県	66
	長崎県	7
	佐賀県	34
	熊本県	13
	大分県	7
	宮崎県	17
	鹿児島県	4
沖縄	沖縄県	93
	計	1606

アンケート調査の概要

1 調査の目的

本調査は、2021年夏実施したミネベアミツミ株式会社のご寄付による「高校生 応援するよ！プロジェクト《高校生等学習支援金》」について実施するものである。

支援金を受け取ったひとり親家庭でどのように支援金を使ったか、また、支援金が高校生のお子さんの学業や生活にどのような影響や変化をもたらしたかを明らかにし、高校生活の継続と充実に何が必要なのか調査を行う。

調査の結果は、ミネベアミツミ株式会社へのご報告、また高校生に対する就学支援制度の充実やひとり親家庭の生活改善につながる政策提言の資料として活かすとともに、高校生世代を抱えるひとり親世帯の状況を明らかにする。

2 調査対象

2021年7月～8月に「高校生 応援するよ！プロジェクト《高校生等学習支援金》」を受給した高校生のいるひとり親家庭等の保護者1606人（2人受給の場合、保護者も2人としてカウント）うち、調査の趣旨を理解し応募書類データとアンケート回答データの集計について承諾して下さった方

3 調査方法

応募時のメールアドレスまたはSMSを利用してアンケートフォームのURLを配信

回答者は回答をフォームに入力して送信

フォームによるオンライン調査の回答に応募時のデータを加えて集計

4 調査期間

2021年10月27日（水）～11月8日（月）

5 配布・回収

配布 1606件（メール1590件、SMS12件、郵送4件）

回収 1019件（フォーム入力1015件、郵送4件）

回収率 63.4%

アンケート調査報告

回答者の概要

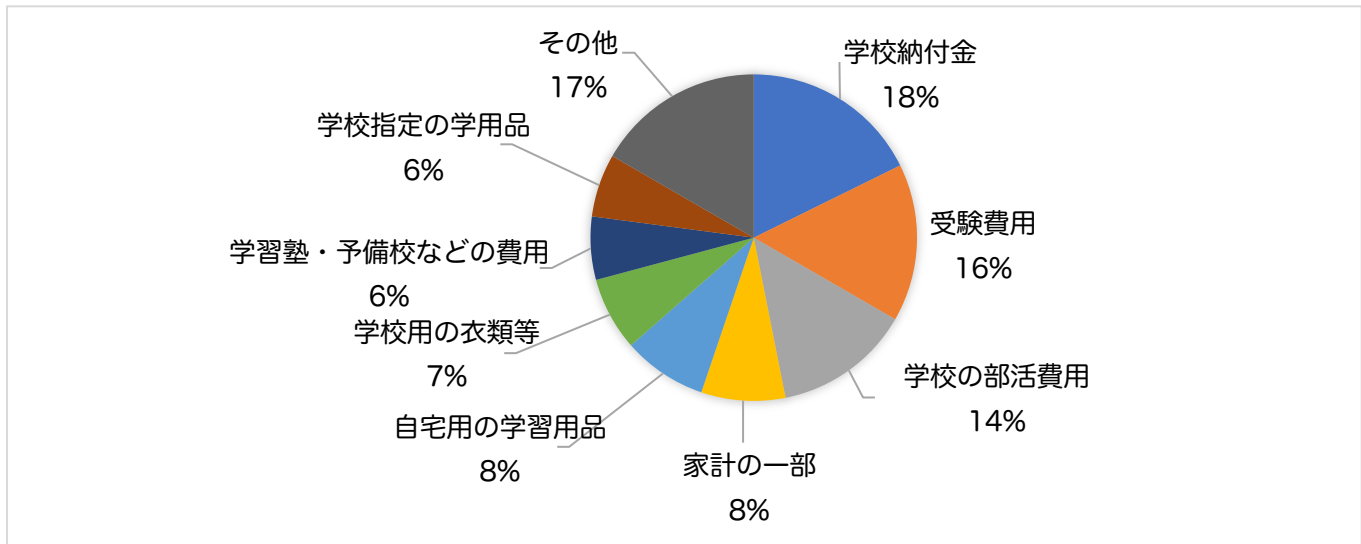
学校種別	合計	学年					課程				
		1年	2年	3年	4年	無回答	全日制	定時制	通信制	その他	無回答
高等学校	966	358	296	308	2	2	856	38	64	0	8
中等教育学校	7	2	2	3	—	0	7	0	0	0	0
高等専門学校・高等専修学校	24	7	8	7	2	0	22	2	0	0	0
フリースクール	0	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0
その他（特別支援学校）	18	6	7	5	—	0	16	0	0	2	0
無回答	4	—	—	—	—	4	0	0	1	0	3
合計	1019	373	313	323	4	6	901	40	65	2	11

※学年については、1年は中等教育学校4年含む。2年は中等教育学校5年含む。3年は中等教育学校6年含む。4年は通信制、高等専門学校/高等専修学校の4年。

支援金の使途

アンケート調査では、使いみち及びその金額を尋ねた（p.27 参照）。

（複数回答 N=1019 ※支援金総額を100とした場合のそれぞれの使途の合計金額の割合）



支援金の使途は、学校納付金（支援金総額の18%）、受験費用（16%）、学校の部活費用（14%）が多かった。

学校納付金を払えないで待ってもらっている世帯も多かった。

またOA入試などの受験のために活用した世帯もあり、合格に結びついていた。

下記の表は、支援金の使いみちについて各項目の平均支出額を示したものである。

学習塾・予備校などの費用が件数は86件と最も低いが、平均額としては23,281円と最も高かった。

また、件数としてはその他が最も多く283件にのぼり、平均額も19,297円であった。高校生生活に必要な費用が多岐にわたっており、そこに支援金が使われたことがわかる。

用途	件数	平均額 (円)
学校納付金	257	22,495
受験費用	250	19,455
学校の部活費用	230	17,634
自宅用の学習用品	225	11,689
学校用の衣類等	189	12,205
家計の一部	181	13,503
学校指定の学用品	153	12,022
学習塾・予備校などの費用	86	23,281
その他	283	19,297

【その他】について

「その他」の費用として最も多かったのは、「通学費用など」(103)。次に「修学旅行関連の費用」(58)、「進学・受験関連費用」(34)を挙げる人も多かった。さらに、「子ども昼食代、交際費」(23)、「衣服、靴」(21)、「貯蓄」(18)、「学校徴収金、部活関連」(11)、「免許取得」(9)、「オンライン授業関連」(8)も支出項目として目立った。そのほか数は少ないが、「医療費」(4)、「他のきょうだいの費用」(2)、「エアコン」(1)、「住宅ローン」(1)などが見られ、高校生世帯の厳しい家計状況がうかがわれた。

- 通学費用など(103) 通学定期代など
- 修学旅行関連の費用(58) 修学旅行のおこずかい 2年/修学旅行の積立金 1年など
- 進学・受験関連費用 (34) 模試費用 3年/就職活動費 3年/オープンキャンパスや説明会の交通費 2年/危険物取扱者乙種 受験費用 1年/高卒認定試験講座費用 3年/電子ピアノを購入 3年など
- 子ども昼食代、交際費など(23)お小遣い 1年/本人が欲しがっていた書籍 2年/お昼の学食代、友人との外食代 3年など
- 衣服、靴 (21) 身長が伸び洋服と靴 2年/洋服と下着 1年/運動靴 1年/ローファー、セーター、靴下 1年など
- オンライン授業関連(8) オンライン授業の為のWi-Fi費用 1年/iPad 1年/通信費 3年/パソコン 2年など
- 貯蓄 (18) 今後の進路のために貯金など
- その他 住宅ローン 1年/エアコン購入資金 1年/手術、入院費 2年/中3次女の給食費 2年/免許証取得費 3年など

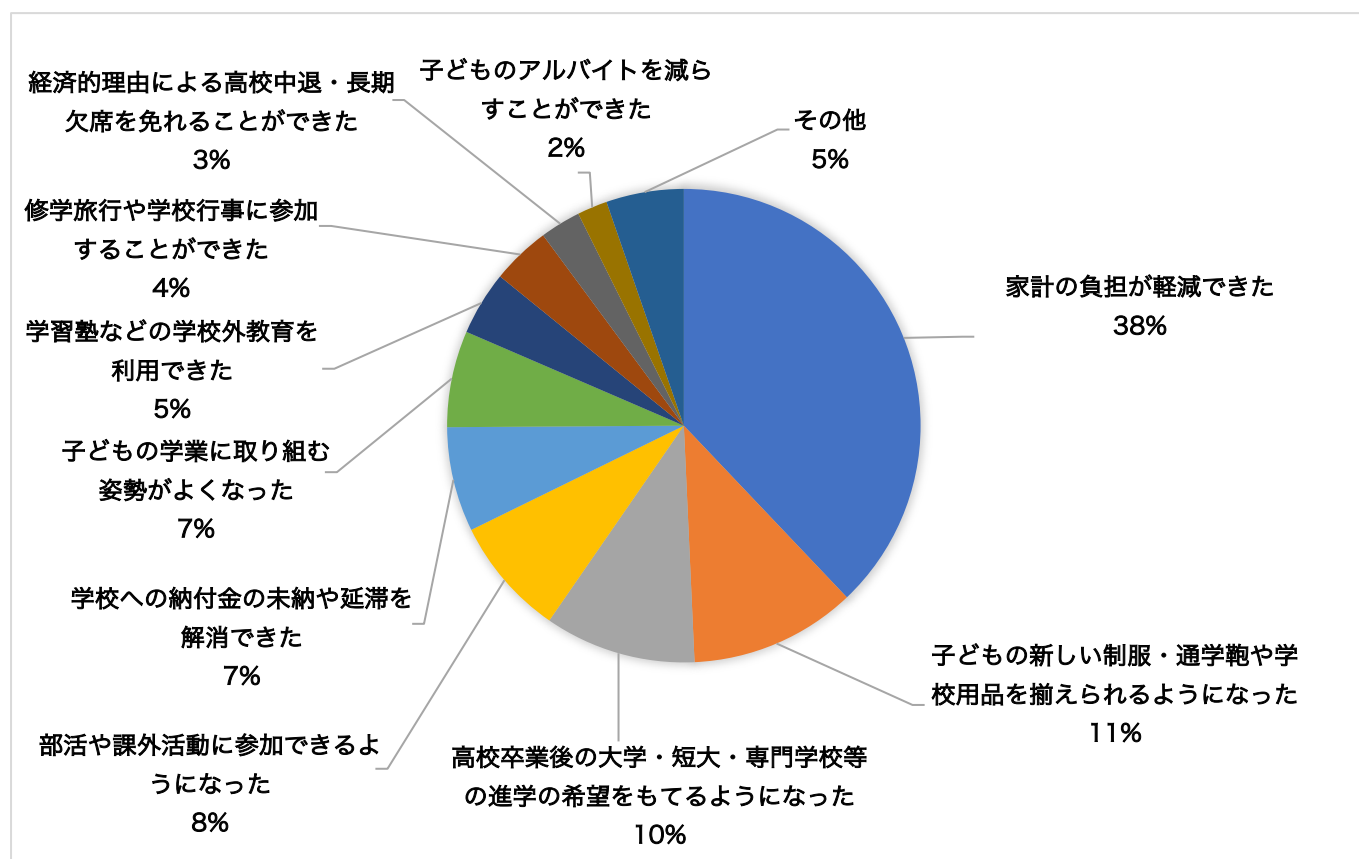
高校生 応援するよ！《高校生等学習支援金》の効果・影響

(複数回答 N=1019 ※N=1019 を 100 とした場合の割合)

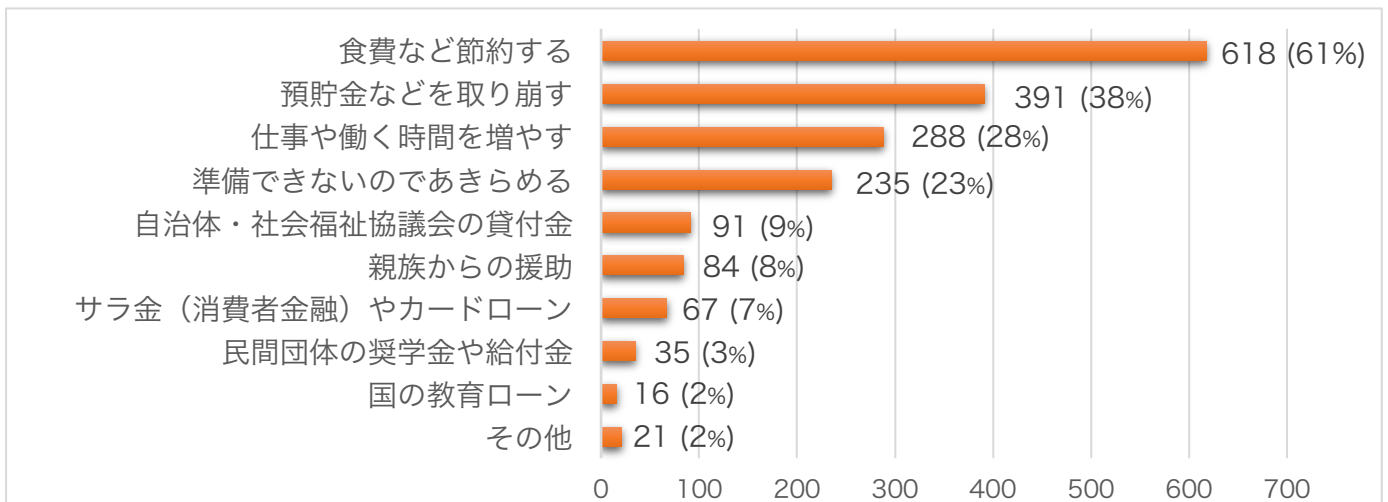
内容	回答数	割合
家計の負担が軽減できた	737	72%
子どもの新しい制服・通学鞆や学校用品を揃えられるようになった	221	22%
高校卒業後の大学・短大・専門学校等の進学の希望をもてるようになった	201	20%
部活や課外活動に参加できるようになった	158	16%
学校への納付金の未納や延滞を解消できた	139	14%
子どもの学業に取り組む姿勢がよくなった	128	13%
学習塾などの学校外教育を利用できた	85	8%
修学旅行や学校行事に参加することができた	78	8%
経済的理由による高校中退・長期欠席を免れることができた	54	5%
子どものアルバイトを減らすことができた	40	4%
その他	103	10%

支援金の効果・影響

(複数回答 N=1019 ※回答総数を 100 とした場合の割合)



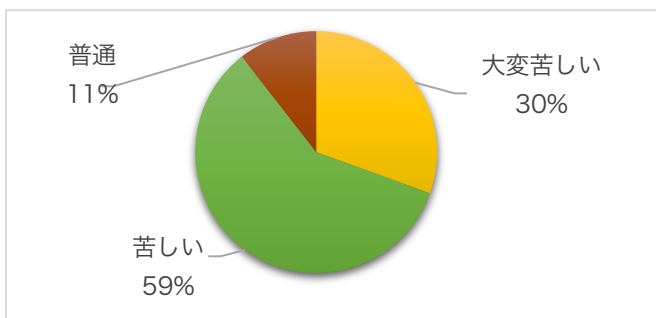
支援金がなかったら (複数回答 N=1019 ※ () 内は回答総数を 100 とした場合の割合)



支援金を受給できなかった場合、それに充てた費用はどのように準備するつもりだったかをお聞きした。「食費など節約する」が最も多く、「預貯金などを取り崩す」を大きく上回っている。預貯金などの準備がなく、当面の生活費を削って捻出するしかないぎりぎりの生活ぶりがかがわれる。自治体の貸付金や親族からの援助よりも「準備できないのであきらめる」を2倍以上の方々が選択していることから、高校生活にかかる費用の負担が子どもたちの進路選択に影響を与えていることが想像される。

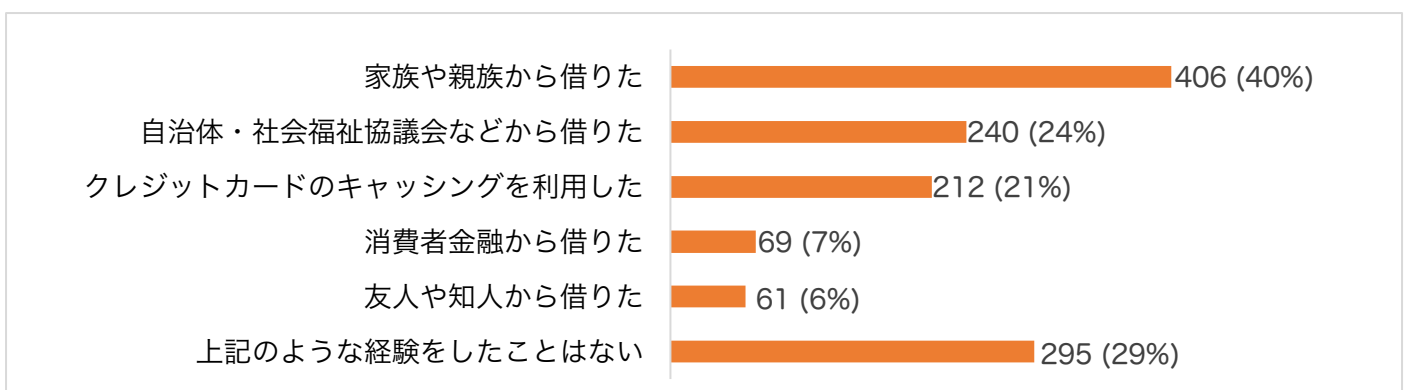
高校生世帯の生活の状況

●現在の暮らし向き (N=950)

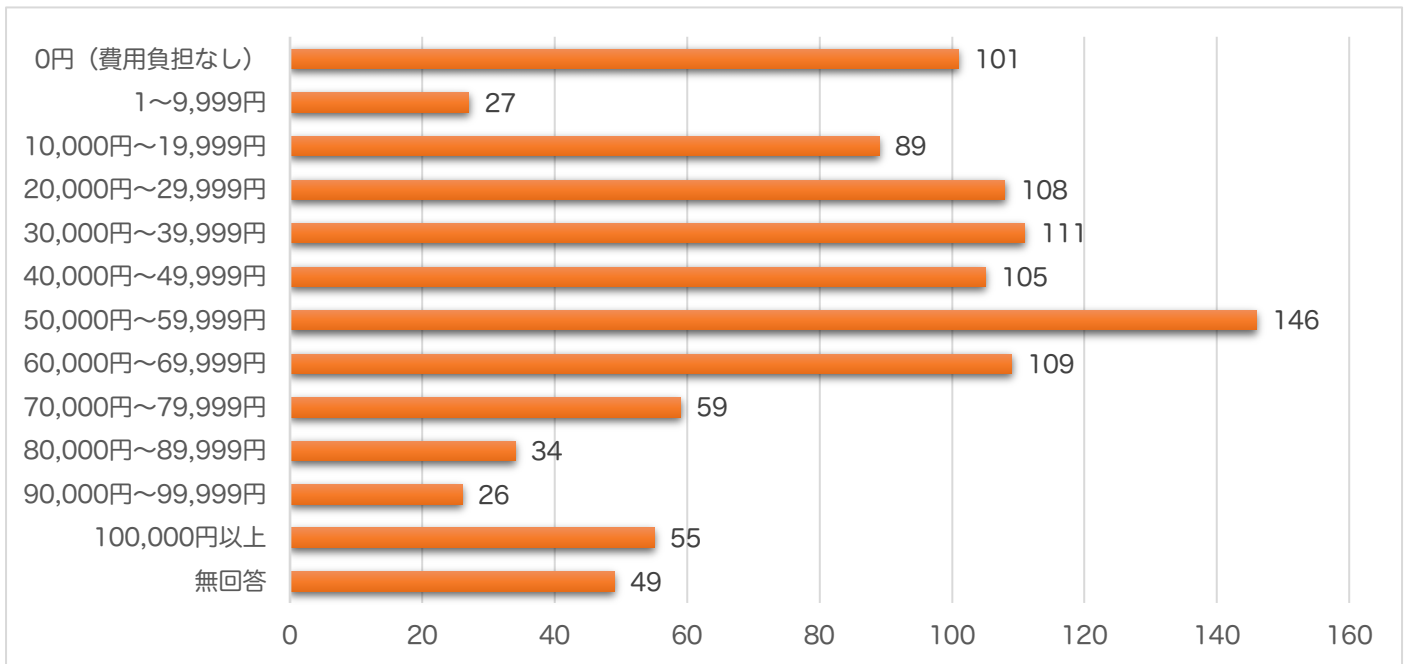


現在の暮らし向きについて聞いたところ「大変苦しい」「苦しい」と回答したのが89%で、大半の世帯が苦しいと答えている。

●生活費をまかなうための借金 (複数回答 N=1019 ※ () 内は回答総数を 100 とした場合の割合)

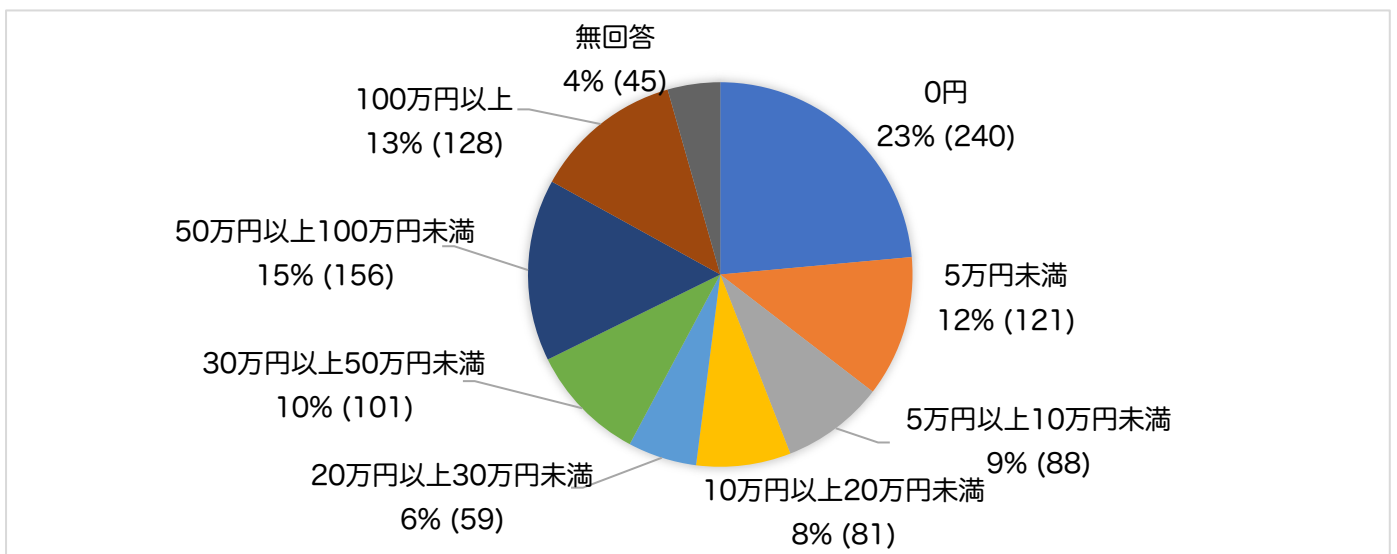


● 1 か月あたりの住居費 (N=1019 ※同一世帯から2人以上受給の場合 別世帯として集計)



(※住居費=家賃・住宅ローン・共益費・管理費などの合計)

●現在の預貯金額 (N=1019 ※()内は世帯数 同一世帯から2人以上受給の場合 別世帯として集計)



現在の預貯金額は、20万円以下と回答した世帯が約半数であった。高校生のいる家庭の支出（学校納付金、教材費、通学費用、部活費用等）は月ごとではなく臨時のものが多いことを考えると、預貯金のストックがないことは、支出が直接家計の運営に大きな支障となるであろう。

アンケート調査報告に寄せて

桜美林大学国際学術研究科教授
小林 雅之

本アンケート調査で特筆すべきことは、回収率が63.4%と極めて高いことである。高校生のいるひとり親家庭等の保護者1606人のうち1019人と多くの回答者が調査の趣旨を理解し、2週間もない回答期間に真摯にこのアンケートに取り組んで回答したことを示している。

この支援金の目的は高校生の学習を支援することである。これについて、学習支援金の使途(p.8)を見ると、学校納付金(18%)、受験費用(16%)、学校の部活費用(14%)、自宅用の学習用品(8%)、学校用の衣類等(7%)、学校指定の学用品(6%)、学習塾・予備校などの費用(6%)と続き、これらを合わせて73%と約4分の3が、学習関連に使われている。これに対して、家計の一部(8%)やその他(17%)が約4分の1となっている。その他の少数の使途を見ると、「医療費」など、家計が厳しく教育に回せなかったと見られ、学習に使われていないが、やむをえないという見方もできるかも知れない。そのように考えると、学習支援金は、おおむね適切に使われていると言っている。平均額で見ても同じような傾向が確認できる。

また、支援金の効果(p.10)についても、複数回答で回答総数を100%とすると、家計の負担が軽減できた(38%)が最も高い割合を占めているが、子どもの新しい制服・通学鞆や学校用品を揃えられるようになった(11%)、高校卒業後の大学・短大・専門学校等の進学希望をもてるようになった(10%)、部活や課外活動に参加できるようになった(8%)、学校への納付金の未納や延滞を解消できた(7%)、子どもの学業に取り組む姿勢がよくなった(7%)など、非常にポジティブな効果が多く見られ、支援金が十分効果的だったことを示している。

逆に、支援がなかった場合には、それに充てた費用はどのように準備するつもりだったか(p.10)については、複数回答で回答総数を100%とすると、食費など節約する(33%)、預貯金などを取り崩す(21%)、仕事や働く時間を増やす(16%)、準備できないのであきらめる(13%)という回答があり、非常に深刻な選択を迫られる可能性も少なくない。

生活費をまかなう借金(p.11)についても、複数回答で、借金をしたことがないという回答は29%にすぎず、何らかの借金で生活していることがわかる。逆に、貯金がないという回答(p.12)は23%で、約4分の1の家庭は、全く余裕のない生活を送っていることがわかる。

回答者はきわめて厳しい生活状況の中で、様々な手立てを講じて、子どもの教育費をまかなおうとしていることがわかる。さらに、アンケートの自由回答からは、コロナ禍の厳しい生活のなかでも子どもの進学への熱意が伝わってくる。しかし、筆者も委員として参加した内閣府の調査「令和3年子供の生活状況調査」でも、ひとり親家庭の厳しい状況が浮き彫りになっている。子どもの

進路希望でも「大学またはそれ以上」と回答した割合は、全体では 50.1%であったのに対し、「母子世帯」では 34.8%であった。

高校の奨学給付金は年額 11 万～15 万円で住民税非課税世帯などを支援するものだ。これについて、受給資格があるのに申請していない家庭が多数あることが問題となっている。2020 年度から始まった修学支援の新制度は、高等教育の学納金と給付型奨学金を合わせて最高年額約 190 万円というこれまでにない手厚い支援を行うものだ。しかし、筆者らが実施した高卒者保護者調査 2020 年でも、新制度の受給対象と考えられる 388 万円以下の世帯(準対象世帯)の進学者でも、38.3%しか受給していない。この点についても様々な要因が考えられるが、ひとつにはそもそも新制度が認知されていないという情報ギャップの問題がある。準対象世帯の進学者でも「聞いたことがない」と回答した者が 21.4%と少なくない(就職者でも 22.9%と同様の傾向が見られる)。

このように奨学給付金や修学支援新制度は、まだまだ周知されていない。高等教育機関に在学する子どもあるいはこれから進学を考えている子どもを持つ家庭は、文部科学省や日本学生支援機構のウェブサイトなどで確認して欲しい。また、政府だけでなく、様々な支援の輪も広がっている。地方公共団体やあしなが育英会のような民間団体あるいは大学自体でも給付型奨学金が拡大している。是非、こうした情報も確認していただきたい。

アンケートの結果からは、厳しい経済状況だからこそ、支援金が非常に役に立っているとも言える。この事業の効果は大きいですが、さらに長期的な支援が求められることも改めて強調したい。

(高校生 応援するよ！プロジェクト《高校生等学習支援金》選考委員)

高校生世帯の崖っぷち生活(自由記述から)

特定非営利活動法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ
理事長 赤石 千衣子

「支援金を受給した高校生と保護者からの感想・メッセージ」から見えてくるのは、ギリギリのところまで追い詰められている高校生世帯の状況である。

「家庭の状況で受験さえあきらめなければいけないかとも思えたが、支援のおかげで受験も叶い合格もできた」

「参考書や検定料などに使わせてもらう」

「模試が受けられてよかった」

「就職試験で宇都宮に2回行かないといけなかったのですが、支援金で行くことができました。無事に就職が決まりました」

などの高校生の声を読むと、将来を決定する「受験」ですら、お金がないという理由であきらめなければならない、その後の進学費用の前にそこでつまづいている子どもたちがいることがわかる。さらに「模試が受けられない」「就職試験の交通費がない」といった状況があることがわかる。

たまたまこの支援金を手にすることができた1600人にはそのチャンスがあったとはいえ、それ以外の子どもたちの困難が透けて見えてくる。

また子どもたちが寝ないで働く親を見て、あるいは親に迷惑をかけられないと必要なものも買ってほしいと言えない状況であることもわかる。

一方保護者の感想を見ると、

- 1 コロナの影響で仕事が減ったり編成替えで仕事に無理をしている保護者の姿
- 2 学校納付金すら滞納している、追い詰められた状況
- 3 お金の心配が常にある生活がメンタルヘルスも悪化させている
- 4 支援金すら、情報を得て申し込まなければもらえない、助けを求めるのにも元気でなければならないという矛盾
- 5 別れた父親から養育費をもらえないので困窮などが見えてくる。

コロナ前から、非正規の割合が半分近くである「ひとり親」の就労状況は、コロナ禍でさらに悪化している中、気力を振り絞って働いている親が多いことがわかる。

そして、学校納付金すら支払えないといった状況も生まれている。そうした心配ごとが、親子のメンタルヘルスをさらに悪化させる悪循環に陥っているのである。

この調査で浮かび上がった高校生世帯の要支援の姿は多様で待ったなしである。高校卒業までの児童手当の支給延長や、高校生等奨学給付金などの前倒し支給が待ち望まれている。

支援金を受給した高校生と保護者より

<高校生のお子さんの感想・メッセージ>

- ◆今回選んでいただいてありがとうございました。私は小3からバスケットを始め、K高校のバスケット部に入る為に勉強頑張りました。入学からいろいろお金がかかったのに、部活のユニフォームや短パンTシャツリュックなど揃えて買わなくてはいけない物がたくさんありました。期日までに払えず、先生からいつ払うんだと、みんなの前で言われた事もあって辛い思いもしました。いただいた3万円でも足りませんでした。私も部活が無い時にバイトを始めて残りをなんとか払いました。本当にありがとうございました。(1年 全日制 東京都)
- ◆コロナの影響で、バイトをするのが怖く、本当に欲しいものはなかなか買うことができませんでしたが、今回いただいた支援金で以前から欲しかった靴を購入することができて、うれしいです。(1年 全日制 東京都)
- ◆経済的に厳しい家庭環境ですが、逆境に負けず、国立大学の医学部医学科受験に向けて勉強に励んでいます。本当にありがとうございました。(3年 全日制 山梨県)
- ◆大学進学への道を選択して将来の夢を叶えようと考えた矢先、コロナ禍という世界的にも経済的にも困難なことが増え、家庭の状況で受験さえ諦めなければいけないかとも思えたが、支援のお陰で受験も叶い合格も出来たことに感謝しています。このような制度は、私と同じような経験を味わった方の力強い応援になるとと思います。この先も支援の形が続くと良いと思います。(3年 全日制 岡山県)
- ◆親の収入が減ってしまい、欲しい参考書など買ってくれなくなった。何をどうしたらいいのか入試対策が出来なくて諦めていたらこちらの支援が受けられることになり、参考書や検定料などに使わせてもらうことができました。本当に有難うございます。入試まであと少し。気を抜かずに頑張っていきます。(3年 全日制 北海道)
- ◆アルバイトを少し減らしました。(1年 全日制 大阪府)
- ◆工業科に在学中で工業科の勉強とは別に独学で建築士の勉強をしています。今回、来年ある検定のお金を払ってもらい、参考書を購入してもらいました。うちは母子家庭で大学には行けませんが、とにかく勉強を頑張って建築一級士の資格をとり、母を助けて行きたいです。(1年 全日制 静岡県)
- ◆高校卒業をあきらめ、高卒認定試験の講座で勉強を始めますが、アルバイトをして講座費用をだすので、3万円も協力してもらえることはとてもうれしかったです。(3年 定時制 東京都)
- ◆コロナの影響で飲食店でのバイトも出来なくなってしまっていたので、本当に塾をやめようかと母と話し合いをしていました。英検の受験料も、親に言うのを躊躇していました。今月からバイトも出来るようになり、塾も英検受験もやめる事なく続けられて良かったです。(2年 通信制 東京都)

◆大学受験を見据えて英検を早いうちから受験したかったが高額のため先延ばしにしていた。今回受験し二級に一発合格出来ました。文化祭の為にクラスTシャツ代 2100 円を払ってホッとしました。やっと新しいメガネをかけられて部活でバドミントンのシャトルがよく見えるようになりました。援助していただき、本当にありがとうございました。(2年 全日制 東京都)

◆公立高校に合格することができなくて、私立高校に通わせてもらっています。いろいろお金がかかっているのに、今回支援金をいただけて、少しだけ気が楽になりました。ずっとファスナー部分が壊れていたペンケースを使っていたのですが、買い換えることができました。英語の問題集も買いました。支援していただいた気持ちがうれしく、もっともっと頑張ろうと思いました。(1年 全日制 兵庫県)

◆模試はお金の面で親に迷惑をかけたくなかったので受けなつもりでいましたが、受験と同じ問題形式で受けられたので良かったです。ありがとうございました。(3年 全日制 宮城県)

◆今回は高校生応援するよ!支援金という有り難いプロジェクトを企画していただき、本当にありがとうございました。会ったこともない僕達のことを想ってあたたかなご支援をいただき、感謝でいっぱいです。ご支援いただいたお気持ちにしっかり恩返しができるよう、これからも一生懸命勉学に励みたいと思います。(2年 全日制 東京都)

◆コロナで学校の勉強に携帯電話が必要になって、寄付していただいたお金から携帯電話を中古の古い物だけ買うことができました。学校の授業中にも使うので、クラスで私だけ持っていなかったのも、学校へ行きたくなくなっていたのですが、お陰でみんなと同じように携帯を使って授業が受けられています。(2年 全日制 青森県)

◆進学か就職か迷ったとき、学費のことも少し頭にあり、就職を選びました。自分の趣味とかに使える自由なお金が欲しかったのもあります。母子手当の無い月に、就職試験で宇都宮に2回行かないといけなかったのも、支援金で行くことが出来ました。無事に就職が決まりました。(3年 全日制 埼玉県)

◆この度は見ず知らずの僕の為に給付金をくださりありがとうございました。おかげで、部活に必要なユニフォームやラケットを買うことができました。母の負担を軽くしていただき、感謝いたします。(1年 全日制 富山県)

◆私服で登校しているけれど、半袖が買えずに一年中長袖を着ていたから、半袖の服が買えてうれしかった。オープンスクールに参加する交通費ができて将来のことも考えられるようになった。春には卒業して専門学校を目指したい。(4年 通信制 岡山県)

◆模試が全て受けられる事が出来て安心しました、ありがとうございます。大学生になったらアルバイトをして家にお金を入れてお母さんの負担を減らしたいです。(3年 全日制 北海道)

◆模擬試験代と共通テスト3回分と塾で必要な電子辞書も購入する事ができました。小さい頃から助産師になりたくて行きたい大学も福岡と県外ですが、目標があるので妥協せずに頑張りたいです。国の援助金などがあるので頑張れます。ありがとうございました。(3年 全日制 沖縄県)

◆高校生応援するよ!プロジェクトの支援をいただけたことをきっかけに塾へ通えるようになりました。毎月の月謝を抑えるため週1で通うことになりましたが勉強ができるスペースがあることがとてもうれしく思います。自宅は狭

く、勉強机がないので塾の存在は本当にありがたいです。一生懸命勉強して、支援いただいたお金が無駄にならないよう頑張ります。本当にありがとうございました。(2年 全日制 大阪府)

◆自宅から学校まで定期代がかかるので自転車で片道1時間かけて通っています。天気の悪い日は危ないので母から電車で行っていいよと言われていますが、悪天候が長く続くとお金がかかるので、いつも申し訳ないな、と思いながらチャージ代を貰っていました。今回3万円の支援をしていただいたことで少しでも母への負担が減らせたので大変ありがたく思っています。(2年 全日制 東京都)

◆今、私は大学受験に向けて勉学に励んでいます。国公立大学を第一志望としていますが、専門学校なども受験したいと考えていた時にプロジェクトのことを知りました。受けるだけでも交通費、試験料がかかるので悩んでいましたが、援助してもらえたことで、とても安心感を持って受験に臨めます。(3年 全日制 長崎県)

◆緊急事態宣言が緩和されてから、通学日数も普通になり、学校に行けるうれしさの反面、制服のことや通学費用については、とても考えてしまいました。母は、私や妹達の学校に関係する費用は、寝ないで働いてでも用意してくれるので、私が高校進学したことで更に母を苦しめてしまっているんじゃないかと、感じていたのですが、今回の応援するよ！プロジェクトのおかげで、少し負担が抑えられたのではないかと思います。(1年 全日制 東京都)

◆今回ご寄付をいただくことができ、私立大学の併願にも前向きに取り組もうと思うことができました。国立だけ受けようと考えていましたが、母からのあと押しと寄付いただけたことにより、安心して受けることができるのでうれしいと思いました。11月からいよいよ受験です。頑張ります。(3年 全日制 福井県)

◆家が貧しい為、友達付き合いが悪くなり(友達は買い食いするが、私はできず見ているだけで)一人であることが多くなった。ますます気持ちが落ち込み、楽しいことがない。(3年 全日制 宮城県)

◆部活動を辞めてバイトをするか親と話し合っていました。このお金で部活動で使う遠征服も買えたので良かったです。有難うございました。(1年 全日制 佐賀県)

◆いつもお母さんが、どうしようどうしようお金が無いって言っていて、いつ学校やめることになるかハラハラしていました。支援のおかげで助かりました。ありがとうございました。(2年 全日制 東京都)

◆ありがとうございました。私もバイトを始め、来年度の学費が払えるよう勉強と両立して頑張ります(1年 通信制 福島県)

◆部活動で必要だった用具を買えました。中高一貫校の中学1年から着続けている制服のセーターも買ってもらいました。小さくて袖もボロボロでずっと恥ずかしかったけれど、高いので親に言えませんでした。ありがとうございました。(2年 全日制 東京都)

◆母がコロナによって仕事が少なくなり収入が半減したのは知っていたので参考書やテキストは買いたいた言えずにいましたが、このプロジェクトを知り申し込ませていただき、対象者に選ばれ参考書で勉強することができました。成績もアップし、これからもこの参考書を使うたび、将来社会貢献出来る人間になるよう頑張ろうと思いつつ勉強しています。本当にありがとうございました。(2年 全日制 沖縄県)

◆部員全員で揃えるウエアーを、自分も揃えることができ良かったです。大切に着たいと思います。ありがとうございました。（1年 全日制 栃木県）

◆僕は小学校から剣道をやっています。部活の胴着を高校で指定のもの上下購入が決まっていたけど買うお金がなくて、先生に言っても取り合ってもらえなかったので部活を辞めなくてはいけないと思っていた中の支給で凄くうれしかったです。お陰で剣道三段も取ることができました。ありがとうございました（1年 私立全日制 東京都）

◆とにかく単位をとって卒業することを目標に学業に励んでおります。障害があるため、バイト先も見つからず、お金が無いという母を助けることが出来ません。今回のお金は学費に使う事ができます。支援してくださった方や母の為にも、勉強に集中して必ず卒業して、就職したいと思います。（1年 通信制 岐阜県）

◆ミネベアミツミ株式会社様、高校生応援するよ！プロジェクトを支援して下さりありがとうございました。お母さんから聞いて、応募しようと思ったきっかけは、進路を決めるときに専門学校に行きたいけど、費用も含めて悩んでいました。でも将来役に立つ資格取得や就職に向けて頑張りたいと思ったので、支援してくれてうれしかったです。いただいたお金で高校生でも資格取得できるための参考書を買って、来月にある検定を受けます。いつか誰かの役に立てるように頑張ります。ありがとうございました。（3年 全日制 愛知県）

<保護者の感想・メッセージ>

◆この度ご支援いただいたミネベアミツミ株式会社様、活動に関わった方々、しんぐるまざあず・ふぉーらむ様、誠にありがとうございました。新型コロナウイルスの緊急事態宣言で今年が一番仕事が減った月にご支援をいただき大変助かりました。お陰様で子ども達の学費などの支払いができて、すごく気持ちに余裕ができました。私たちを見捨てないで私たちのためにご支援ありがとうございました。私たちもいつか余裕が出来れば是非困っている方々を助けたいのでこれから精一杯頑張ります。（3年 定時制 栃木県 保護者）

◆昨年、勤めていた会社がコロナ禍によって仕事が激減し、その後期間限定で同じコロナ関連での急激な受注が増えるというアップダウンが起きました。しかし限定期間以後に仕事が入る見通しがなかったため、会社が雇用の差し控えを行ったことで、残って仕事をしていた私に多大な負担がかかり、そのストレスによって身体を壊してしまい、ここ1年ほど仕事が出来ない状態です。その中で子どもの養育、そして子どもが高校3年のため大学受験への勉強や入学金・授業料のことが心配で、私は非常に苦しく不安な思いをしてまいりました。コロナ禍の前代未聞の事態にも拘わらず、政府の支援は的を射ず、かつ遅速でしたし、私は以前自治体から就職のための勉強費用を援助いただいたので、これ以上借りても返せないため、新たな借入れもできないという思いでした。誰にも助けてもらえないという気持ちでもんもんとしていました。

そんななか、ミネベアミツミ株式会社様、認定 NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ様のご活動を知り、このような世間の状況のなかでも「助けてくれる方々がおられたのだ」という「感動」が一条の光となって差し込みました。そのご支援や、ご支援いただく思いに、精神的にもどれほど救われたか分かりません。大学受験への安心感も増し、前を向く勇気が出ました。このご恩は忘れません。忘れないで、自分が世の中に貢献できるようになったら、またお返しできるようにしたいと考えます。本当にありがとうございました。（3年 全日制 大阪府 保護者）

◆息子は中学2年、3年と1年半不登校になりました。新しい高校でスタートし、学校にアルバイトに、1年半できなかったことを取り戻したいと、やる気が100%になり、生まれ変わったように何もかも一生懸命にやっていました。そんな時に、私にお金がないことに、頑張りたいこと、やりたいこと、挑戦したいことを応援してあげられない自分がいて、本当に自分が精神的に参っているのを家族に隠しながら毎日1000円でも多く稼ごうと毎日頑張っています。今回支援していただいた3万円は、息子の人生が大きくいい方向へ向けてもらえたと思います。本当に本当にありがとうございました。(2年 定時制 長野県 保護者)

◆私の家庭の場合、今年度、娘の高校入学だけではなく、息子の中学校入学もあり2人分の入学が重なり、2人分の入学金、制服、体操着、指定靴等の入学準備金の家計への負担が大変大きくて、入学金、制服、体操着、指定靴等全て申込み締切も設けられていますので、公的な就学援助費も本当に必要な“時”に貰えるものではなく、後から援助いただけたので、その家計の歪みが入学後の今もあり、輪をかけてコロナの影響で休職も余儀なくされたりと金銭面的余裕も勿論ですが、精神面的に気持ちの余裕が全くありませんでした。

しかし、今回のご支援のお話をいただいたとき、丁度娘の高校の学納金後期の支払いが迫っている時期でしたので、気持ちに余裕のない私にとっては光となりました。息子に塾を辞めさせようかと考えた時もありました。しかし、後に訪れる高校受験への対策、準備としても勿論ですが、それ以前に息子の学習意欲を親の私が奪ってはならないと思い、本来のご支援金の対象ではない中学生の息子にもご支援金の一部を使わせていただきました。これからもミネベアミツミ株式会社様には、苦しいと悩まれているどなたかの“光”となっていただけたらと切に願います。(1年 全日制 宮城県 保護者)

◆この度は幸運にも学習支援金を頂戴できる運びとなり、このお話をご紹介いただきました自治体、ミネベアミツミ(株)様、そしてこのプロジェクトに感謝を申し上げたいと存じます。父親を亡くし母娘三人で何とかここまでやってきました。子ども達を社会人として送り出すには、もう少し時間も経費もかかります。頂戴致しました支援金は、子どもが、いずれは社会に貢献出来るような人間になりますよう、有意義に使わせていただきたいと思っております。(3年 全日制 佐賀県 保護者)

◆パート勤務の為元々少ない収入で大変でしたが、コロナ禍で思うように働けずますます苦しい生活の中、子どもの受験期となりさらに心細い状態でしたのでご支援いただきとても助かりました。早速受験料にさせていただきました。ご支援してくださる方が居るということで心も支えていただきました。今はお金も時間も体力も心の余裕も何もない日々ですが、少しでも人の為に何かできるように頑張っていきたいと思えます。要望としては、もちろん低所得者に向けた支援金や給付金があるとありがたいのですが、パートでも真面目に働けばまともに生きていける賃金体系が世の中に広まれば良いと思えます。同じだけ責任のある仕事をしてパートがとても下に扱われて賃金も少なく感じています。正社員になればいいのですが、コロナ禍の為に求人も少なく年齢もあり難しい状態です。(3年 全日制 愛知県 保護者)

◆この度ご支援いただいたミネベアミツミ株式会社様と、いつも私達の為に活動してくださっている しんぐるまあざあず・ふおーらむの皆様感謝してもしきれないです。緊急事態宣言で収入が激減して長女の学費は滞納していて、二女に(電車代)通学費の購入が出来なくて毎日とても不安で生きた心地が無かったです。お陰様でさっぱり滞納の学費のお支払いできましたので気持ちに余裕が出ましたし、これからは頑張ろうってスイッチが入りました。暗闇の中から私達に手を伸ばしてくれて心の底からありがとうございました。(1年 通信制 栃木県 保護者)

◆息子は大学に進学を考えていますが、息子同様、学校で受ける模試にこんなにも受験料がかかると思ってもいませんでした。受けたい模試を受けることが出来たようです。夢に向かって頑張っている息子をこれからも応援していきたいと思います。たくさんの方が応援してくれている事を忘れず目標に向かって頑張してほしいです。(3年 全日制 北海道 保護者)

◆この度はとても暖かい援助の企画を提案してくださりありがとうございました！学校での活動に出費が増えるので今回のような援助は大変助かりました！コロナ禍で日増しに物価が高くなり、まだまだ育ち盛りの子どもに好きなものや、栄養のあるものを食べさせてあげたい気持ちとは裏腹に、低収入なのでどうしてもスーパーの値下げ品や、お肉やお魚などは頻繁には買えずどうしても偏りがちな食生活を続けている毎日です。時々、実家にも頼ったりしてなんとか生活していますが、両親も高齢でいつまでもお世話になるのも難しいなとは思っています。国の貧困世帯に対する援助もありがたく利用させていただいておりますが、正直手続きが大変だったり、たった一度きりの10万円の給付金だけでは全く足りず、多くの母子、父子家庭は毎日生きるのに必死な世帯がたくさんいると思います。もちろん選挙の投票にも行かせていただきますが、これからの子供たちが安心して暮らしていけるようにしっかりと政策を考えていってほしいと願います。(1年 全日制 埼玉県 保護者)

◆今回、「高校生 応援するよ！プロジェクト」に応募し、3万円をいただくことが出来ましたこと大変ありがたいと思っています。制服代に使わせていただきました。我慢させることが多いですが文句一つ言わずに頑張っている娘をみると、もっと努力しないと……と思います。母子家庭ということで、娘には肩身の狭い思いをさせているかもしれませんが、いつも明るく！を信念に笑顔は絶やしません。もっとこのような取り組みがあると助かります。一人でも多くの方が笑顔で過ごせる社会でありますように。(1年 全日制 東京都 保護者)

◆フルタイムで仕事をしていても、高校2年と2歳前の子どもを、実家に頼れず女手一つで生活しているため、保育園の延長料金や、遅番で利用しているファミサポ料金など、支出の方が多いため困っていました。離婚後に元夫が自殺した為、養育費もなく、毎日生きているだけで精一杯です。滞納していた学校納付金も、お陰様で払うことができました。本当にありがとうございました！(2年 定時制 三重県 保護者)

◆今年、家計急変により収入0になり傷病手当を受給していますが、社会保険料、納税は前年度収入により算出されるためギリギリの生活でした。加えて子供が16歳になって控除額が減ったせいか、児童扶養手当金額が今年度から減ってしまい家計急変は考慮されないとのことでショックをうけていました。この度、三万円の支援いただき、息子の為に必要な物に充てる事ができました。結果、督促状を受け取っていた市税の支払いもできました。ミネベアミツミ様の企業名は忘れません。息子が独り立ちし余裕が生まれた時には私も困っている人達に支援をしたいと思えます。(2年 全日制 東京都 保護者)

◆資格なども持っていませんので、なかなか正社員の仕事がみつからず、社会保険、せめて雇用保険が加入できる仕事を探しておりましたが、採用にいたらないので、少しでも働きたいという面接に行きました。月18時間程度のパートの面接に行った際に「扶養内の収入じゃあなたはたりないでしょ？」と家庭状況を見て親切に言ってくれたと思うのですが、コロナ禍の中でご主人の減収などで扶養内で働きたい主婦の方の仕事をとってしまうことになるのかな、と自分のことばかり考えてはだめなのかなと感じました。今は、任期付き(来年の3月31日まで)雇用保険なしですが、働くことができています。来年4月からのことを考えると、不安ですが今は今の仕事を大切に頑張りたいと思っています。プロジェクトのおかげで、1人じゃないんだなと心強く思っています。(1年 通信制 神奈川県 保護者)

◆共通テストの検定料、および模擬試験の検定料、電車通学の定期券代等にに使わせていただきました。子どもにはよそ様からお金の援助をいただいたことは話せていません。「援助を受けないと成り立たない家庭」という事実で惨めな思いをさせてしまうかもしれないからです。しかし、折をみてこの事実と感謝の気持ちについて話をしたいと思います。ありがとうございました。（3年 全日制 長野県 保護者）

◆恥ずかしい話、子どもの学費にもお金が回らず、修学旅行が中止になったことで、返還されるかと思っていたお金も、卒業後に清算されるとのことで、就職試験の交通費すら出すのが厳しい状況でした。支援金のお陰で、娘も無事に就職が決まりました。コロナ禍でも部活動はしっかりあり、バイトにもなかなか行けず、色々我慢してくれました。働いたお金は全額自分の為に使ってもらいたいと思います。（3年 全日制 埼玉県 保護者）

◆私がコロナ禍で、発熱から始まった厄介な病を発症してしまい、コロナかもしれないという不安、地元医師会でさえ、診てくれる所を紹介出来ない時期で、階段も上がれない状態で苦しみ、子どもの食事もお弁当も出来ずにとても困りました。主人が亡くなり、お金に困っても、やらなければならない事や通常の仕事に追われ、奨学金や支援を調べる気力さえ起きませんでした。自動的に援助出来る仕組みがあればと切に願います。また、子どもには伝えていませんが、主人が子ども宛てに遺した保険金には税金がかかり、配偶者である私でしたら払わずに済む相続税をわざわざ子供を指定したからこそ、親を亡くした子どもは払わなければならないという理不尽さに打ちひしがれました。国は、親を亡くした未成年の子には相続課税しないよう制度改革して欲しいと望みます。親を亡くしたり、シングルになった家族を支援して下さる組織が色々ある事さえ、役場で保険証の手続きをしても、死亡届けを出しても、遺族年金の手続きをしても、誰も教えてくれませんでした。せめて奨学金をまとめた情報誌やサイトの案内をするよう全国の自治体に徹底して欲しいと願います。そして、主人のスマホも個人情報保護で開く事が未だに出来ません。せめて子どもには、主人が最後に見た景色や遺した言葉を取り出せる法律があればと願っています。（3年 全日制 神奈川県 保護者）

◆昨年から続く就業難で、派遣スタッフをしています。緊急事態宣言のたびにシフトが削られ日に日に家計は苦しくなっています。コロナ前は正社員で年収400万円でした。今年は非課税世帯になりさがりました。給料日になっても支払うと手元に残る生活費はわずか毎日がお金の心配ばかりです。8月には突然の心房細動で動けなくなり、家で1週間ほど安静にしていたためこのタイミングで二人で6万円もいただけて、クレジットカードの残高や、中学校の学費の滞納分を支払うことができ本当に助かりました。お米も買うことができお腹も満たされた気持ちになりました。医師に「無理してたんでしょ」と言われ無自覚に頑張ってきた自分に気づきました。生活は苦しいけどまだまだ人生は続きます。早く経済が上向きになってほしいです。（4年 通信制 岡山県 保護者）

◆4人の子育てをしているひとり親です。家計に余裕がないなか、ご寄付をいただき、本当に助かりました。全額を受験費用に充てさせていただきましたが、子育てには本当にお金がかかることを実感しています。誰もが公平に、大学生になれる制度があればなあと思います。4人のうち下の2人は大学までは無理かもしれませんが、なるべく当人たちの希望の進路へ繋げてやれるように、母として努力をしたいと思います。（3年 全日制 岡山県 保護者）

◆夫が3年前に亡くなり母子家庭になりました。事情があり夫が残した借金などもあります。息子が大学進学を希望しているのですが、応援してあげられるかも不安な日々です。コロナ禍で私の仕事も影響を受け去年は仕事が激減しました。生活費を工面する為、今は2、3個の仕事を掛け持ちでしています。何とか大好きな部活を続けさせてやる事と食事などしっかり3食は食べさせてやる事ができています。母として頑張らねばと前だけを向く日々です。今回

支援をいただき、教材費や部活の費用など大きな金額を無事支払う事ができ感謝しています。ご支援ありがとうございます。(2年 全日制 北海道 保護者)

◆母子家庭だから…大学にいけない！って回りから言われないように、必死で働いてきました。が…今回のコロナで収入が半分以下になってしまい、高校の学費を払うのに必死で、大学に必要な費用を貯めることができず…受験代を支払うのも難しかったのが現実でした。ですが…支援金をいただいた事で無事に受験できました。本当にありがとうございました。(3年 全日制 東京都 保護者)

◆高校生 応援するよ！プロジェクト、本当に助かりました 通学費用を少しでもかからないように、バスを使わずに徒歩で駅まで通っていた事を最近知りました…情けない親ですね…精一杯掛け持ちで働いていても、下着の1枚も考えずに買うことができず、不払いの養育費の請求をしたら、育てられないなら捨てたらいいだろうと言われ、無能で貧乏な親のせいで、そこに生まれた子どもに何の罪もないと思うんです。せめて、子どもの教育にお金がかからないようにして欲しいです！切にお願いします。(1年 全日制 東京都 保護者)

◆オンライン授業になり、自宅で勉強するために、WiFiが必要になったり、色々で費用がかかりました。とりあえず使えるようにはなりましたが、破損したり、故障したらと思うとそれも不安です。今回は援助があったので大変助かりました。ありがとうございます。(3年 定時制 東京都 保護者)

◆3年間教師からのいじめで子どもが不登校になりがちになり、親の介護、会社でのパワハラ等が重なり医師から仕事をしない方が良いと言われ退職しました。その後、コロナで生活が一変。再就職をしようにも100社近く落ち、1年半無職でした。ハローワークでは、怒鳴られどうしようもなくなにもかかもが嫌になっていました。ようやく仕事も決まり、今回支援金のことをしるるまざあず・ふおーらむのメールで知り応募させていただきました。普通に払うと年間24万位の交通費がかかります。交通費に充てさせていただきました。(2年 全日制 北海道 保護者)

◆ミネベアミツミ株式会社様 コロナ禍で失業し、先行きが不安の中で支援金に助けられました。定期代に使わせていただきました。支援してくださる方がいるから、私ももっと頑張ろうと思えます。これから、娘も進んで行く道にも少しでも役立つよう背中を押して行こうと思えます。もっと国からのサポートを必要とする私を含め多くの方達に生活を守っていきける政策を望んでいます。子ども達の未来に希望が持てるよう、仕事につく事への夢が持てるよう、雇用の問題も働きやすい環境が必要だと思えます。結婚、子育てする事に不安を抱かないような国へ変わって欲しいです。(3年 全日制 千葉県 保護者)

◆子は何も言わないけど、金銭的な事は心配していた。奨学金を貰えた事で、AO試験にも受験したいか？と聞いた時の、ほっとした笑顔が忘れられない。負担を軽減できました。(3年 全日制 広島県 保護者)

◆子どもには申し訳ない気持ちしかない。決して贅沢せず、身の丈あった生活を送っていますが、普通の暮らしができません。「引き落とし日がいづ」「支払い日がいづ」「残りの使えるお金は？」「節約だ」「見切り品はないか？」と不安な毎日を送っています。正直、何度か親子で死の覚悟をしたことも。(3年 全日制 宮城県 保護者)

◆このたびは大変たすかりました。学費が遅延していて、学校に行けなかったもので、ありがたいです。親族とも疎遠になり頼れるあてもなく正直、無理心中も考えるまで追い込まれました。(3年 通信制 大阪府 保護者)

◆この度は、ミネベアミツミ様のご厚意に胸が熱くなりました。国や都の制度(貸付や支援)を最大限に使わせてもらっていますが、学費以外にもいろいろと出費が多く、どんなに働いても手元にお金が残りません…大学進学に向けて貯蓄したいと思っても、高校進学で借りた支援金を返済するのがやっと…無利子とはいえ、借金ばかりが増えていきます。(専門学校で長男の学費も含め…)『高等学校授業料 実質無償化』と謳っているものの、結局学費は先払い、後から戻ってくるのでは、精神的な負担は大きいまです。ぜひ相殺にしてほしいです。また、専門学校にも給付型の奨学金制度を導入してほしいと思っています(一部しか導入されていません…)。お金のことで精神的にも体力的にもくたびれることが多いですが、今回もしんぐるまざあず・ふおーらむさんのご支援に、この度のミネベアミツミ様のご厚意に、元気と勇気をいただきました。本当にありがとうございました。(2年 全日制 東京都 保護者)

◆子どもには、やりたい事をやって欲しい!と言うのが希望で、ひとり親だから、という理由で諦めて欲しくないと思い、今までも、部活や修学旅行、合宿など参加させてきました。大学へ進学予定です。今回の支援金は共通テストの検定料にも使わせていただきました。本当に助かりました。(3年 全日制 長野県 保護者)

◆この度ありがとうございました。大変助かりました。私は学校への納付金を先に1年分一括で3月に払わなければならなかったのに、知人に借りて払いました。その一部として返済に充てる事が出来ました。まだまだ先は見えず大変ですが、本人もバイトなどして頑張っています。無事卒業出来るよう私なりに娘を応援して行きたと思っています。(1年 通信制 福島県 保護者)

◆長野県内にひとり親家庭のために…と援助して下さる企業があるなんて、うれしくまた感謝しております。いただいたお金で修学旅行へ行かせていただきます。中学生の頃の修学旅行はコロナで中止になり、大変残念がっていましたが、私としては不憫に思う反面、その分まとまった金額の返金があり助かりました。子どもも長野県に私たちを支援してくれる企業があるという事を知り、世の中の見方が変わったのではないかと思います。今回、ミネベアミツミ株式会社様に助けていただきうれしかった気持ちをこれから他のひとり親家庭の方、そうではない方に広げたいと思います。(1年 全日制 長野県 保護者)

◆コロナ感染拡大の影響により、失業し新しい職場で働き始めるも収入が減少してしまい生活をなかなか立て直す事が出来ないなか、高校生応援するよ!プロジェクトで支援していただき高校生2人のオンライン授業なども何とか自宅で出来るようになりとても感謝いたします。やってあげたいけど収入を増やす事も出来ず焦っていた気持ちが少しやわらぎました。ありがとうございました。(1年 全日制 神奈川県)

◆経済的な理由で娘の夢を諦めさせてはいけない!の思いで、必死に働いてきました。ただ、何の資格もない50代の出来る仕事は限られていて現実の厳しさを味わう日々です。そんななか、不覚にも乳癌が見つかり思うように仕事を増やすことが出来なくなってしまいました。娘はバイトを増やしてくれ助けてくれます。ただ、この最悪の時でも、ご支援くださる方々の思いが前を向いて頑張る力になります。経済的だけでなく、精神的にも助けていただきました。有難うございました。(1年 全日制 福島県 保護者)

◆働いてなんとかする!ということができない療養中の身に、コロナ禍も重なって暗雲のたれこめるような時期でした。子どもが18歳を迎えると手当類は一切なくなるので、働けない親にとって収入は坂道を転げ落ちるように減ってしまった一方で、高等教育を望む子どもがいれば扶養しつづける負担が重くのしかかります(進学先が国内ではな

いため、2020年からの低所得者向け給付型大学奨学金も受けられず、そうと知っていたら自宅から通える国内大学にした息子です。いまは学食が高い、地下鉄が高いと言って避け、友達が来た先週土曜日は34000歩、なんと20kmを歩きながらおしゃべりしたというような暮らしをしています)。ミネベアミツミさんの大切な援助をどうやって生かそうかと考えて、かねてから必要を感じていた身体に合ったジャケットを求めさせていただきました。息子は胸を張ってうれしそうでした。お気持ちのこめられた3万円は、どんよりとした気持ちを吹き飛ばすカンフル剤のようでした。応援をどうもありがとうございます！(5年<中等教育学校> 全日制 東京都 保護者)

◆援助いただき 大変助かりました。今は暮らしが大変ですが、やはり「母子家庭だから」という理由で進学をあきらめさせたくはありません。成りたかった夢に向けて娘を支えていきます。(3年 全日制 長崎県 保護者)

- 8 民間団体の奨学金や給付金
- 9 準備できないのであきらめる
- 10 その他 記述 ()

◇ 高校生等奨学給付金と高等学校等就学支援金について

【問2-1】「高校生等奨学給付金*」は受けられていますか。

* 授業料以外の教材費のための支援。市町村民税所得割額非課税世帯対象。『教育費サポートブック』

p.21 参照

- 1 受けている
- 2 受けていない

【問2-2】「2 受けていない」と答えた方にお聞きします。受けられていない理由を教えてください。

- 1 制度を知らなかったから
- 2 申請する時間がないから
- 3 受給条件が合わなかったから
- 4 必要がないと思ったから
- 5 その他 記述 ()

【問2-3】「1 受けている」と答えた方にお聞きします。「高校生等奨学給付金」を受け取られたことでどんな効果・影響がありましたか。(複数選択可)

- 1 修学旅行や学校行事に参加することができた
- 2 高校卒業後の大学・短大・専門学校等の進学希望をもてるようになった
- 3 家計の負担が軽減できた
- 4 経済的理由による高校中退・長期欠席を免れることができた
- 5 部活や課外活動に参加できるようになった
- 6 学習塾などの学校外教育を利用できた
- 7 子どもの学業に取り組む姿勢がよくなった
- 8 学校への納付金の未納や延滞を解消できた
- 9 子どものアルバイトを減らすことができた
- 10 子どもの新しい制服・通学鞆や学校用品を揃えられるようになった

【問3-1】「高等学校等就学支援金*」は受けられていますか。

* 返還不要の授業料支援。世帯収入590万円までの家庭を支援。『教育費サポートブック』p.22 参照

- 1 受けている
- 2 受けていない

【問3-2】「2 受けていない」方にお聞きします。受けられていない理由を教えてください。

- 1 制度を知らなかったから
- 2 申請する時間がないから
- 3 受給条件が合わなかったから
- 4 必要がないと思ったから
- 5 その他 記述 ()

◇ 就学援助制度や民間の給付奨学金について

【問4】下記の奨学金や給付金、貸付金制度などで利用しているものを教えてください。

- 1 私立高校独自の給付金
- 2 母子父子寡婦福祉資金貸付金（修学資金）
- 3 母子父子寡婦福祉資金貸付金（就学支度資金）
- 4 社会福祉協議会の教育支援資金
- 5 国の教育ローン
- 6 日本学生支援機構の奨学金
- 7 自治体の奨学金（貸付・給付型）
- 8 東京都の受験生チャレンジ支援貸付金（東京都のみ）
- 9 その他 記述（ ）

◇ 新型コロナの影響について

【問5】新型コロナの感染拡大によってお子さんの学校生活にどのような影響がありましたか。

- 1 入学や開校の時期が延期になった
- 2 オンライン授業となったため、パソコンやタブレット、WiFiなどの費用が必要になった
- 3 休業、自粛などにより保護者が減収・無収入となったため、修学旅行などの費用が調達できなくなった
- 4 休業、自粛などにより保護者が減収・無収入となったため、部活にかかる費用が払えなくなった
- 5 休業、自粛などにより保護者が減収・無収入となったため、学習塾や学習アプリなどの費用が払えなくなった
- 6 学校を休みがちになった、あるいは学校に行かなくなった
- 7 その他 記述（ ）

◇ 暮らしについて

【問6-1】

あなたの現在の経済的暮らし向きは、いかがですか。

- 1 大変苦しい 2 苦しい 3 普通 4 ややゆとりがある 5 大変ゆとりがある

【問6-2】

あなたは、母子世帯・父子世帯・養育者世帯として暮らし始めてから、生活費をまかなうために、お金を借りたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

※住宅ローン・自動車ローン・子どもの奨学金は含みません。

- 1 生活費を家族や親族から借りた
- 2 生活費を友人や知人から借りた
- 3 生活費を公的機関（自治体・社会福祉協議会など）から借りた
- 4 生活費を消費者金融から借りた
- 5 生活費をまかなうためにクレジットカードのキャッシングを利用した
- 6 1～5のような経験をしたことはない

【問6-3】あなたが住居費として負担している金額は、1か月あたりおいくらですか。家賃・住宅ローン・共益費・管理費などの合計の金額を教えてください。（一つに○）

- | | | | | | |
|----|-----------------|----|-----------------|----|-----------------|
| 1 | 0円（費用負担なし） | 2 | 1～9,999円 | 3 | 10,000円～19,999円 |
| 4 | 20,000円～29,999円 | 5 | 30,000円～39,999円 | 6 | 40,000円～49,999円 |
| 7 | 50,000円～59,999円 | 8 | 60,000円～69,999円 | 9 | 70,000円～79,999円 |
| 10 | 80,000円～89,999円 | 11 | 90,000円～99,999円 | 12 | 100,000円以上 |

【問6-4】あなたの現在の預貯金額はどのくらいですか。（一つに○）

- | | | | | | | | |
|---|--------------|---|--------------|---|---------------|---|--------------|
| 1 | 0円 | 2 | 5万円未満 | 3 | 5万円以上10万円未満 | 4 | 10万円以上20万円未満 |
| 5 | 20万円以上30万円未満 | 6 | 30万円以上50万円未満 | 7 | 50万円以上100万円未満 | | |
| 8 | 100万円以上 | | | | | | |

◇ 高校生 応援するよ！プロジェクトへの感想や ご寄付いただいたミネバアミツミ株式会社様へのメッセージ、その他、国や自治体へのご意見・ご要望をお聞かせください

【お子さんから】（お子さんの声をご紹介ください）

【保護者の方から】

★上記欄（感想・意見・要望）をホームページ等でご紹介してもよいですか

（必ず記入してください） ※お名前は掲載しません

- 掲載してもよい 掲載は不可

～ご協力ありがとうございました～